

平成 2 1 年 度

財団法人秩父地域地場産業振興センター
事 業 報 告 書

《第 2 7 期》

自 平成 2 1 年 4 月 1 日

至 平成 2 2 年 3 月 3 1 日

法 人 名 財団法人 秩父地域地場産業振興センター
代表者職氏名 理事長 久 喜 邦 康
所 在 地 埼玉県秩父市宮側町 1 番 7 号

平成21年度事業報告

<事業の概要>

当センターは、秩父地域における地場産業振興の拠点施設として、昭和60年4月にオープンし、以来、国・県及び秩父市並びに関係諸団体と緊密な連携を取りながら、地域産業振興のための各種事業を実施してきた。

平成21年度においては、広域秩父産業連携フォーラム(FIND Chichibu)の活動を中心とした「産学官連携事業」・「産学官コーディネート事業」の他、経済産業省の地域力連携拠点事業を(財)埼玉県中小企業振興公社より「再委託事業」として実施するとともに、「秩父地域活性化推進事業」、「需要開拓事業」、「情報対策事業」等を地域産業振興事業として積極的に実施した。

また、独立採算制を目指し、営業活動を充実させ「地場産品展示販売事業」、「施設利用促進事業」についても積極的に実施した。

尚、各事業実施内容については、次のとおりである。

1. 産学官連携事業(1/2市補助事業)及び再委託事業(経済産業省地域力連携拠点事業)

(1) 近隣大学・公設試験機関及び支援機関と地元企業等の交流

① 「FIND Chichibu 総会」開催

日 時 平成21年7月14日(火) 15時～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他

内 容 ○広域秩父産業連携フォーラム FIND Chichibu 総会

○講演会の開催

テーマ「秩父市の定住自立圏構想について」

第1部 秩父市の産業振興について～総論

講 師 秩父市長 久喜 邦康 氏

第2部 秩父圏域における定住自立圏構想の取組状況について

講 師 市長室参事兼定住自立圏構想プロジェクトリーダー
高橋 範充 氏

○交流会：太白芋&食文化地域活性化分科会提案の地産地消メニュー

参加者 地域内企業、大学・研究支援機関、金融機関、行政機関、
地域内会議所・商工会 市議会議員 等

○意見交換会

② 「FIND Chichibu 中間報告会」(成果発表会)開催

日 時 平成21年12月8日(火) 16時～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室 他

内 容 ○FIND Chichibu 成果発表会

・コーディネート事業報告

成果事例発表 未来エネルギー研究分科会設立 木村 勤氏

・部会活動報告

「連携交流部会」「インターネット部会」

・分科会活動報告

「観光分科会」「ちかいなか分科会」「高校生インターンシップ調査・

研究分科会」「水源地域活性化分科会」「デザイン分科会」「太白芋分科会」「食文化地域活性化分科会」「未来エネルギー研究分科会」

○交流会：食文化地域活性化分科会提案の地産地消メニュー

参加者 地域内企業、地域内高校、支援機関、金融機関、行政機関、地域内会議所・商工会 等

③「講演会」の開催

i 日 時 平成21年11月19日（木） 17時30分～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他

内 容 ○講演会の開催

テーマ「彩の国の産業未来図 自動車環境技術の現状」

講 師 埼玉県産業技術総合センター 総長 荒木 純一氏

○懇親会

参加者 地域内企業、金融機関、行政機関、広域秩父産業連携フォーラム会員 等

ii 日 時 平成22年2月2日（火）16:00～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

内 容 ○講演会の開催

テーマ「今そこにある経営の危機」

講 師 税理士兼中小企業診断士 専門コーディネータ 高浪 正一氏

参加者 地域内企業、金融機関、行政機関、広域秩父産業連携フォーラム会員

④「FIND Chichibu 幹事と市長との懇談会」の開催

日 時 平成22年2月24日（水）18:30～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 3階 302会議室

(2) 秩父地域の総合ポータルサイトの充実と活用

ポータルサイト未掲載企業の掲載を促進した。平成21年度、新規に32社登録し、全登録企業数は平成22年3月末現在162社。

①「ポータルサイト 個別診断会」開催

日 時 平成21年10月21日（水）13:00～19:00

平成21年10月22日（水）9:30～17:00

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

講 師 (有)アイ・リンク・コンサルタント

滝浪 義則氏

参加者 広域秩父産業連携フォーラム会員 10社

②「ムーバブルタイプのホームページ作成講座」開催

日 時 平成22年2月16日（火）13:00～19:00

平成22年2月17日（水）10:00～17:00

平成22年2月18日（木）10:00～17:00

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室

講 師 (有)アイ・リンク・コンサルタント 代表取締役

中小企業診断士

加藤 忠宏氏

参加者 広域秩父産業連携フォーラム会員 等 13名

(3) 研究開発の促進・中核的支援機関との連携

「彩の国地域プラットフォーム」の支援機関として、中核的支援機関である(財)埼玉県

中小企業振興公社や(財)さいたま市産業創造財団、(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構等各支援機関との連携を密にした。

①「新都心イブニングサロン」への参加

日 時 ①第24回 平成21年10月9日(金) 17:30～

②第25回 平成22年1月29日(金) 17:30～

場 所 新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室

②「食の安全フェア」出席

日 時 平成21年11月14日(土)

場 所 (財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構

(4)「技術交流展」への出展

地域外で開催される産業技術交流展へ出展し、地域企業の周知に努めた。

①第6回 埼玉県北部地域技術交流会

日 時 平成21年11月11日(水) 10:00～16:40

場 所 埼玉工業大学 大乘殿

主 催 埼玉北部地域技術交流会実行委員会

埼玉県産業技術総合センター

参加者総数 507名

出展企業数 60社 大学等 6大学 支援機関 11機関

②第6回 埼玉県西部地域産業技術展示交流会

日 時 平成22年2月24日(水) 10:00～17:00

場 所 狭山市民総合体育館

主 催 狭山・川越・所沢・飯能商工会議所、入間市商工会

出展企業数 86社 大学等 10校 支援・金融機関 9機関

(5) 他地域からの企業視察受入と交流

秩父地域の先進企業への視察受入を仲介し、相互の交流促進に努めた。

①「地域経済自立化機能体・広域連携強化研修会」参加

日 時 平成21年7月3日(金)

内 容 (財)広域関東圏産業活性化センター主催の広域連携強化研修会が秩父で開催され、「野菜工房」見学、当センター会議室にて意見交換会を実施

参加者 地域経済自立化機能体、企業、金融機関、関東経済産業局 36名

② 協同組合 三条工業会の視察受入

日 時 平成22年3月12日(金)

内 容 「秩父エレクトロン(株)」「榊二ノ宮製作所」見学

参加者 新潟県 伝統的鍛冶技術継承事業 講師および受講生 23名

(6) 分科会活動の推進

テーマ毎に分科会活動を実施した。

①観光分科会

平成20年度は立教大学観光学部、(財)埼玉りそな産業協力財団と連携し、全4回のオープン分科会を開催したが、平成21年度は別の視点から見た「観光」を学んだ。

i テーマ「自転車を活用した観光の可能性について ～秩父の希望と現実」

とき 平成22年2月10日(水) 18:30～20:30

講師 駿河台大学 現代文化学部 天野宏司准教授 参加者 27名

ii テーマ 「超(ちょ～)観光立県から見た秩父の観光」

とき 平成22年3月15日(月) 18:30～20:30

講師 埼玉県 産業労働部 観光課長 荒井康博氏 参加者 33名

②ちかいなか分科会

明治大学政治経済学部、秩父市ふるさと創造課、埼玉県秩父地域振興センター、埼玉県秩父農林振興センター等と連携し、過疎化対策・機能低下集落への対応、遊休農地対策等の共同会議の開催や間伐材の活用、秩父産木材を使用した家作り、遊休農地・空家などの活用方法等を模索した。

都市住民が農業体験により、田舎暮らしの魅力を体感してもらう計画を立てたが、機械の故障などのアクシデント等で日程が合わず実現には至らなかった。

しかし、宅建協会との連携により、秩父地域における定住自立圏構想の枠組みの中で、『都市住民との移住・交流促進モデル』として遊休農地・空家情報を発信できるシステム(空家バンク)を構築することができた。

広報活動としては、7月にビッグサイトで開催された「いきいき移住交流フェア2009」と、10月の「はんじょう博」へ出展し、「ちかいなか秩父」のPRに努めた。

③高校生インターンシップ調査・研究分科会

秩父ハローワーク、埼玉県秩父地域振興センター、秩父市工業振興課、秩父地域雇用対策協議会(雇対協)、地域内県立高校、地域内企業と連携し、高校生のインターンシップ実施について模索した。

平成21年度は、平成20年度に引き続き、秩父農工科学高校専攻科と、皆野高校2年生がインターンシップを実施した。全体会議も7月、11月、3月と3回実施し、企業側と学校側との意見交換も活発になされ、高校生インターンシップの実施に関する一連のシステムを確立することができた。従って、今後は実施団体を雇対協に移管することとなり、本分科会は解散した。

④水源地域活性化分科会

事例発表として、荒川商工会逸見事務局長から「荒川商工会の取組み」として、そばかりんとうの開発、販売、平賀源内を切り口とした秩父のPR、平成20年度小規模事業者新事業「花の村荒川づくり」等の話をいただいた。

また、滝沢ダム原石山トンネルの活用について、秩父市大滝総合支所、矢尾本店、源流郷おおたき、NPO森等々の関係者と協議し、矢尾本店の焼酎「だんべえ1.80」を3年間寝かせることとした。1本2,000円で希望を募り150本を貯蔵した。

⑤デザイン分科会

デザインを活用した産学連携に、日本大学芸術学部の肥田教授を招聘し、具体的な手法を学んだ。それにより、今後の展開として、短期的事業として身近なデザイン＝自社で必要とするデザインについての研究と、長期的事業としてグッドデザイン賞に関する調査研究の2本を柱とし、日本大学芸術学部と連携し、課題解決への研究を推進することとした。

・Design UK 09セミナー(駐日英国大使館主催のデザインセミナー)への参加

とき 平成21年7月6日(月) 18:30～

会場 駐日英国大使館

テーマ 「技術力を生かすデザイン、地域産業を応援するデザイン
— 新たな JAPAN BRAND を世界に」

講師 英国デザインコンサルティング会社のデザイナー

・勉強会の開催

とき 平成21年12月7日(月) 18:30～

テーマ 「デザインを活用した産学連携について」

講師 日本大学藝術学部 デザイン学科

インダストリアルデザイン研究室 肥田不二夫教授

⑥太白芋分科会 (再委託事業)

(財)埼玉県中小企業振興公社より、経済産業省地域力連携拠点事業の再委託事業として、農商工連携により絶滅の危機に瀕していた地域資源である「ちちぶ太白さつまいも」をお菓子に活用し、新たな地域ブランドの創出と販路拡大をめざした。

・外部評価の実施 対象：ちちぶ太白さつまいもを活用した菓子 11 品

(つくり手・売り手・買い手をつなげる「いいものプロジェクト」運営(有)良品工房)

・外部評価を踏まえた勉強会の実施

第1回 平成22年 1月12日(火) 19:00～20:30 地場産センター 402

講師：(有)良品工房の白田典子氏

第2回 平成22年 2月12日(金) 19:00～20:30 地場産センター 402

講師：(有)良品工房の白田典子氏、(株)丸井の食品部門のチーフバイヤー溝口康氏

大手スーパー百貨店等における現状と消費者ニーズ、地域外販売の留意点など、今後の方向性へのアドバイスを受けた。特に、地域内販売と地域外販売では、商品パッケージを変えるなど、パターンを変えた戦略が必要であるとの指導を受けた。

・普及啓蒙活動の実施

小学生親子を対象に「ちちぶ太白さつまいも」を使ったお菓子作りを実施。

平成21年10月24日(土)8:00～11:00 秩父市立花の木小学校 親子50組×2回

・販路の拡大

秩父地域外として、埼玉県内のイトーヨーカ堂・マミーマート・イオン・ヨークマー
ト、ナチュラルローソン新宿駅西口店(埼玉・アンテナショップ)、埼玉県物産観光協会等
での販売を開始した。

⑦食文化地域活性化分科会

地産地消をキーワードとし、秩父地域の食材調査・研究を中心に活動した。

地域の食材を美味しく食べていただく事や食材の紹介を行うため、総会懇親会・報告
会後の懇親会等に積極的に開発メニューを試食していただき、参加メンバーよりご意見
や評価をいただくことで次へのステップへと繋げた。

・メニュー提案 平成21年7月14日(火) FIND Chichibu 総会後の懇親会

平成21年11月19日(木) 連携交流部会主催 講演会後の交流会

平成21年12月8日(火) FIND Chichibu 中間報告会後の懇親会

平成22年2月24日(水) 市長との懇談会(弁当)

⑧未来エネルギー研究分科会

低炭素社会実現をめざして、太陽光発電等未来エネルギーの活用研究として、太陽光
発電パネル設置補助金等の勉強会、地域住民を対象とした無料相談会・普及状況調査(ア

ンケート)の実施、また、秩父市担当職員等とともに、先進地視察を実施した。

i 未来エネルギー相談会 21/5/17(日)・9/22(日) 9:00~17:00 秩父公設市場

ii 太陽光発電勉強会 21/10/31(土) 18:30~20:00 参加者 16名

iii オープン分科会 21/7/22(火) 18:30~20:00

「太陽光発電の現状と将来展望」講師 江田元之先生 参加者 30名

iv 先進地視察 21/6/26(金) 京セラ佐倉事業所内エネルギーセンター参加者 11名

21/12/10~11 ・飯田市地球温暖化対策地域協議会

(参加者 14名) ・おひさま進歩エネルギー(株)

・三菱電機(株)中津川製作所飯田工場

・財団法人飯伊地域地場産業振興センター

v 吉田元気村見学会 22/1/21(木) 14:00~16:30 参加者 18名

(7) 秩父地域ミニ・ビジネススクールの開催 (再委託事業)

(財)埼玉県中小企業振興公社より経済産業省地域力連携拠点事業の再委託事業として、明治大学政治経済学部森下正教授にカリキュラム編成を依頼し、秩父地域の若手経営者を対象に、経営の基本事項の習得、経営革新等の諸施策、事業継承の諸問題や先輩経営者や専門家の講義等を製造・商業の2コース全10回実施した。

コーディネータ 明治大学 政治経済学部 森下 正 教授

受講生 地域内企業 若手経営者・幹部候補生等 32名 (のべ参加人数 180名)

	開催日 (18:30~20:30)	内容	講師	受講生
①	平成21年7月6日(月)	最新地域経済事情	明治大学 政治経済学部 教授 森下 正 氏	28名
②	平成21年7月27日(月)	経営に活かす 自己分析&自己診断	(有)ウィンビグ 代表取締役 大石 勝幸 氏	28名
③	平成21年8月24日(月)	HQM活動の実践事例研究	日本創造経営協会 理事 永田 弘道 氏	22名
④	平成21年9月9日(水)	先進地視察～狭山若手経営者 研究会との合同研修	狭山市訪問企業3社経営者他 明治大学 政治経済学部 教授 森下 正 氏	14名
⑤	平成21年9月28日(月)	マーケティング入門 色・ネーミング・パッケージ	明治大学 政治経済学部 教授 木谷 光宏 氏	8名
⑥	平成21年10月26日(月)	連携組織化による 地域産業活性化	中小企業団体中央会 指導員 鈴木 晋作 氏	22名
⑦	平成21年11月16日(月)	実践マーケティング 地域ブランドの構築方法	明治大学 政治経済学部 教授 木谷 光宏 氏	6名
⑧	平成21年12月14日(月)	先進企業経営者講話会	七星科学開発センター センター長 大島 文彦 氏	11名
⑨	平成22年1月18日(月)	モノづくり企業の 改善活動事例研究	(株)創造経営センター コンサルR 根本 兼司 氏	18名
⑩	平成22年2月22日(月)	中小企業の イノベーション戦略入門	明治大学 政治経済学部 教授 森下 正 氏	23名

2. 産学官コーディネート事業(秩父市委託事業)

中小企業相談・指導実績を有する中小企業診断士を専門コーディネータとして招聘し、毎週火曜日に地域コーディネータの加藤氏と秩父市求人開拓員と共に企業訪問し、企業が抱える課題、問題克服の助言、指導を行った。また、水曜日には周藤氏による FIND Chichibu 会員の新規開拓やポータルサイトの掲出促進を実施し、ポータルサイトは自己都合による未掲

載を除きほぼ100%掲出された。

本事業は、相談者を会場で待つのではなく、直接こちらから訪問することで、迅速な対応が可能となっている。悩み等があってもわざわざ出向くのは…としり込みするケースや、日々の業務に追われ考える余地をなくしているケースなどに対して、「気づき」へとつながるケースが多々見受けられた。企業訪問の知名度も上がり、決算書等を開示しての具体的な相談が増え、コーディネータのアドバイスをこなすことでステップアップされた企業等も見られた。

FIND Chichibu の中間報告会では、それぞれの専門コーディネータによるミニセミナーを実施するとともに、年末から年度末まで、緊急ホットラインを開設し、火曜日の訪問を優先するとともに緊急事態には電話対応も応じる等、資金繰り、取引先の斡旋等も含め、専門コーディネータの情報網を駆使し、可能な限りその悩み解決に尽力する等不測の事態に備えていただいた。

- ・専門コーディネータ 中小企業診断士 江田元之 氏・高浪正一 氏・高澤 彰 氏
- ・地域コーディネータ 加藤薫一 氏・周藤一之 氏
- ・活動実績 訪問企業数 103社 相談来所数 16社 マッチング 1社

○緊急ホットラインの開設

平成21年12月25日(火)～平成22年1月31日(日) → 3月20日(土)迄延長

○知っててお得 ミニセミナー

日 時 平成21年12月8日(火) 14:30～15:30

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室他

- i 各種助成金等経済施策最新情報 江田 元之 氏
- ii 事業承継の一般常識 高浪 正一 氏
- iii 売上アップの営業法 高澤 彰 氏

3. スウェーデンとの産業交流基礎調査事業(秩父市委託事業)

秩父市とスウェーデンシェレフテオ市が締結した産業連携交流に基づき、現地企業の状況を把握し、今後の企業間交流の可能性についての基礎的な調査を実施した。

企業技術視察員は、FIND Chichibu 会員へ公募し3名を選出した。帰国後、それぞれの専門分野において、産業交流の可能性について実績報告書にまとめ、秩父市へ提出した。

現地調査日程 平成21年11月2日～11月8日(5泊7日)

企業技術視察員 FIND Chichibu 副幹事長 山口 浩人 氏
" ちかいなか分科会長 廣瀬 正美 氏
" 観光分科会長 中村 雅夫 氏

主な視察先

シェレフテオ市役所表敬訪問、教会、教会村、木造アパート、木造駐車場、木造建物群
バイオマス・コジェネ施設、世界最長の木橋、マーティンソンズ・トレブローアル社(木橋)、キャンプ場、ヴェステルボッテン・チーズ工場、ヴェステルボッテン県知事表敬訪問、エコハウス、ヤントレーヒュース社、コマツ・フォレスト社他

民間企業が感じた視察状況

- ・秩父における「ナチュラル・ライフ・プラン戦略会議」の開催
- ・今あるものを最大限活用する → 地域資源の活用
- ・ステレオタイプの日本(すし・天ぷら・フジヤマ)ではなく日本全体に興味を持っている
- ・「まるごと秩父フェア」の提案(例 物産館商品まるごとコンテナに詰めて持っていく)

4. 秩父地域活性化推進事業（秩父地域活性化研究会）

平成 21 年度より名称を「秩父地域活性化研究会」と改め、秩父地域における観光及び物産に関する調査、研究、開発等を推進し、地域産業の活性化を目指すこととした。

新たなテーマ研究は、「食」をテーマとするガイドブックの作成であり、中でも「長く続くには訳があり価値がある」として、創業 30 年以上を目安に、飲食店、旅館、食品製造業等の食に関連する老舗のアンケート調査および聞き取り調査を実施した。

また、平成 18 年度から平成 20 年度に調査研究を実施した集大成となる『マニアックな秩父体験記』と『秩父の色 100 選～地域カラーの選出～』を地場産センターのホームページに掲載し、広く活用できるようにした。

尚、物産館協力会及び地場産センター職員互助会と連携し、合同視察研修会を実施した。

(1) 全体会議等

- ①総会 平成 21 年 5 月 25 日(月) 17 時～ 402 会議室
- ②視察研修会 平成 21 年 6 月 9 日(火)
目的地 神奈川県 箱根 大湧谷・関所・箱根園水族園
地場産センター物産館協力会、職員互助会と合同実施
- ③役員会 平成 21 年 5 月 11 日(月) 19 時～ 402 会議室

(2) テーマ研究

「秩父で長く愛されたお店」（老舗）の調査

アンケート調査：郵送、メール、FAX 等で 260 件へアンケート調査を実施
回答 40 社

- 研究会 計 9 回 18:30～21:00 402 会議室他 現地取材等の実施
- 現地聞き取り調査 6/28(日)：こみに亭(秩父市東町)
10/5(月)：吉見屋(皆野町)
10/29(木)：武甲酒造(秩父市宮側町)・大むら本店(秩父市東町)
11/17(火)：安田屋(小鹿野町)
2/18(木)：長生館(長瀨町)
会議他(402 会議室) 7/13(月)・9/6(日)・4/1(水)
3/8(月)：武島家専務出前講話

(3) ホームページの活用

- 『マニアックな秩父体験記』 <http://www.jiba.or.jp/chichibu/taiken.htm>
『秩父の色 100 選～地域カラーの選出～』 <http://www.jiba.or.jp/chichibu/color.htm>

5. 需要開拓事業

(1) 物産展・市民まつり等イベント催事への参加

下表の物産展・市民まつり等のイベント催事に積極的に参加出展し、秩父地域及び地域の物産を広く紹介・宣伝・販売を行った。

物産展・市民まつり等イベント催事出展一覧表

期 日	出展場所	催 事 名
4 月 4 日～5 月 6 日	羊山公園	芝桜まつり特設販売
5 月 20 日～24 日	イトーヨーカ堂深谷店	地元名産市
6 月 13 日～14 日	横浜赤レンガ会場	横浜開港 150 周年イベント
6 月 27 日～28 日	桐生地場産センター	2009 夏の市

9月12日～13日	山梨県甲府・国中地域地場産センター	地場産業まつり
9月6日	秩父市立大田小・中学校	第57回秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会
9月20日～22日	富士川地場産センター	秋祭り・全国特産品フェア
10月10日	荒川水循環センター	下水道フェスタ
10月11日	棕神社例大祭会場	龍勢祭り
10月25日	神庭交流広場	第33回奥秩父大滝紅葉まつり
10月24日～25日	堺市産業振興センター	堺市商工会議所創立130周年記念大産業祭
10月24日～25日	桐生地場産センター	大じばさん展
10月31日～11月1日	浅草寺境内	浅草こども歌舞伎
11月7日～8日	東村山市役所周辺	第48回東村山市民産業まつり
11月7日～8日	山口・防府地場産センター	全国うまいもの物産展
11月11日～15日	イトーヨーカ堂深谷店	地域フェア
11月14日～15日	備後地場産センター	じばさんフェア2009
12月12日～13日	桐生地場産センター	2009じばさん冬の市
22年2月26日～28日	山梨甲府・国中地域地場産センター	地場産業まつり
22年3月20日	東京都豊島区公会堂	平成21年度秩父ファンの集い
22年3月21日	大宮ソニックシティ	日本太鼓ジュニアコンクール
22年3月27日	JR巣鴨駅ロータリー	巣鴨桜まつり

*延べ81日間 売上 12,187千円

(2) イベント等の開催

①地場産まつりの開催

i. 春の地場産まつり

- ・期 間 平成21年4月10日(金)～5月10日(日)
- ・会 場 1階エレベーター前・店頭・2階休憩コーナー
- ・内 容 春をテーマにGW期間中の集客増進を図った
イ.試飲、試食コーナー・草花の販売・枳餅の実演販売

ii. 夏の地場産まつり

- ・期 間 平成21年8月14日(金)～16日(日)
- ・会 場 地場産センター2階展示コーナー・1階エレベーター前
- ・内 容 体験教室のイベントを開催してお盆期間中の集客増進を図った
イ.夏休み一研究日替わり体験コーナー (木工・藁草履・押し花)
 - ・ 木材利用拡大検討会にて夏休み木工教室
 - ・ 逸見米吉様の藁草履教室
 - ・ クリエイト(引間様)押し花教室

ロ.大抽選会

ハ.試飲、試食コーナー

② 全国地場産業振興センター 地場産品交流

秩父の地場産品を他の地場産センターで展示・紹介・販売した。

- ・交流センター 山梨県富士川地域地場産業振興センター
三重北勢地域地場産業振興センター
今治地域地場産業振興センター

③ その他特設コーナー

季節感を考慮しながら物産館1レジ及び4レジ前平台に特設コーナーを設置し、

販売促進に努めた。

4月 4日(土) ~	5月 6日(水)	芝桜フェア
4月 15日(金) ~	5月 31日(日)	バラ菓子
6月 25日(木) ~	7月 31日(金)	お中元コーナー
12月 1日(火) ~	12月 26日(土)	お歳暮コーナー
12月 8日(土) ~	12月 26日(土)	クリスマスツリー
1月 1日(金) ~	1月 20日(水)	お年賀コーナー
1月 20日(水) ~	2月 3日(水)	節分コーナー
1月 15日(金) ~	2月 14日(日)	バレンタインコーナー
3月 1日(月) ~	3月 14日(日)	ホワイトデーコーナー
3月 15日(月) ~	4月 3日(土)	ひな祭りコーナー

④ 観光文化施設再発見週間の開催

秩父観光文化施設連絡協議会会員施設合同イベントとして、「第14回秩父の文化施設再発見週間」を次のとおり実施した。

・期間 10月16日(金)~22日(木)

・開催日 10月16日(金)~17日(土)の2日間

先着100名様に秩父の地場産品があたるスピードくじを実施

・参加者 200名

(3) メディアを利用した地域PR

テレビ埼玉情報紹介番組「テレ玉・ちちぶへGO!」に電話で出演し、センター、地域情報、地場産品等の紹介・宣伝を行った。

その他のテレビ、雑誌等への情報提供、資料提供は随時行った。

6. 情報対策事業

ホームページの活用

平成20年度にリニューアルしたホームページを更新し、センター案内、物産館におけるショッピング、施設使用申し込みがネット上より可能となった。

トピックスにて、各種イベント情報等の発信に努めた。

尚、施設申込に関する問い合わせが以前のホームページよりも増加した。

7. 直営事業

(1) 地場産品の展示即売事業

秩父地域の特産品(織物製品、民芸品、地酒、ワイン、銘菓、惣菜、食料品、野菜類等)を主に1階物産館において広く展示紹介、販売を行った。

4・5月は芝桜の開花時期にあわせてツアー団体客・観光客が訪れた。当館への立ち寄り人数は4月において、前年比86.3%であり、5月は前年比85.1%だった。売上についても前年比89.7%だった。

GW以降についても季節感あるディスプレイをこころがけ、歳時にあわせたイベントを実施した。

秩父夜祭は、平日ということで昨年同様一部改装に変更して実施したが、来館者数及び売上は昨年とほぼ同じ実績となり、今後も平日開催の場合は一部改装で対応できると確信

した。

いずれにしても、100年に一度と言われるリーマンショック後不況の影響は大きく、ディスプレイの変更や団体昼食のお客様を対象に特別販売を実施するなど、販売の増加に努力したが、景気の影響を受け厳しい一年となった。

その他、電話注文、ネット販売については、DMによる販売や固定客による再々注文などがあり、ホームページのリニューアルにあわせて更なる顧客の開拓を図った。

物産館売上表 (単位：千円)

月	20年度	21年度	比較増減	増加率(%)
4月	36,171	30,406	-5,765	84.1
5月	32,935	30,217	-2,718	91.7
6月	19,192	14,236	-4,956	74.2
7月	18,378	14,747	-3,631	80.2
8月	25,655	21,389	-4,266	83.4
9月	22,729	20,934	-1,795	92.1
10月	20,719	19,728	-991	95.2
11月	26,656	24,147	-2,509	90.6
12月	23,811	21,285	-2,526	89.4
1月	17,922	17,424	-498	97.2
2月	13,057	12,675	-382	97.1
3月	19,172	16,220	-2,952	84.6
合計	276,397	243,408	-32,989	88.1

(2) 観光エージェントの誘客

① 旅行業者への営業活動

観光団体客誘客のため、首都圏をはじめ、東北・中部地方等の観光業者を訪問し、秩父への誘客及び当センターの立寄り打ち合わせ等を行った。

- ・訪問営業日数 46日(20年度60日)
- ・訪問件数 614件(20年度799件)

② 添乗員、乗務員休憩室の整備

2階レストラン前にて、前年同様休憩室を設置し、添乗員・乗務員等に休憩スペースを提供すると共に各種パンフレットを整備し誘客宣伝に努めた。

(3) 地元小中学校の課外学習等受入

① 中学生社会体験チャレンジ事業

- ・秩父市立第一中学校

期 間 平成21年7月8日(水)～10日(金)9時30分～16時(休息含め5時間半)
参加者 中学1年生 男子3名

- ・秩父市立第二中学校

期 間 平成21年8月26日(水)～28日(金)9時30分～16時(休息含め5時間半)
参加者 中学2年生 女子3名

② 小学校社会科見学

- ・西小学校 2年生 平成21年10月 23日(金) 3クラス 84名

(4) 施設利用促進事業

センター施設(多目的大ホール、大小会議室、相談室等)を地域内の企業、団体の会議、

研修会、展示会等に貸出した。

センター自主事業による会議・研修会が増えたため利用回数は増加したが、先の見えない不況の影響からか例年利用のある秩父地域内外企業の採用活動による会場利用や、大型の祝賀会利用が大幅に減少した。しかし、大型ショッピングセンターウニクス秩父開店による新規テナント店の利用という特需により使用料の大幅減が圧縮され、わずかな減収に止まった。(対前年比 98.01%)

センター施設利用状況表

月	20年度		21年度		比較増減	
	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)
4月	131	711	99	436	-32	-275
5月	88	397	123	762	35	365
6月	133	902	132	802	-1	-100
7月	111	814	120	533	9	-281
8月	83	461	84	388	1	-73
9月	111	1,338	144	1,293	33	-45
10月	138	807	173	750	57	-57
11月	133	628	166	654	33	26
12月	93	542	103	634	10	92
1月	93	617	95	831	2	214
2月	107	803	115	833	8	30
3月	119	612	120	544	1	-68
合計	1,340	8,632	1,474	8,460	134	-172

※ 上記金額は一般貸出の使用料

※ 回数には、無料貸出及びセンター自主事業(会議等)が含まれる。

(5) レストラン経営委託事業

平成20年度に行ったレストラン経営者の公募により決定した株式会社和銅鉱泉旅館による「秩父茶房レストラン春夏秋冬」が6月23日にオープンした。オープン当初は団体客・宴会を取らない個人客に特化した運営としたため、前経営者の秩父鉄道グループの株式会社熊倉高原センターによる「レストランロビン」とは全く異なる形態となった。

地産地消を付加価値とした高単価なメニューを回転率の高い個人客に提供する方向性であったが、客足が伸びないことから、団体客・宴会の受け入れ、施設利用者への営業による会議弁当・昼食の受注、限定食の開発販売などの取組みを行い、新たな客層開拓へ積極的に取り組んだ。

秩父茶房レストラン春夏秋冬実績表

月	客数	売上(千円)
6月	601	582
7月	1,299	1,415
8月	1,846	1,778
9月	1,677	1,657
10月	1,652	1,671
11月	2,213	2,205
12月	1,409	1,381
1月	1,344	1,410
2月	914	841
3月	1,179	1,158
合計	14,134	14,098

8. 管理運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

① 理事会の開催

次のとおり理事会及び書面表決を行い、原案どおり承認可決された。

i.第1回 理事会

- ・月 日 平成21年 5月29日(金)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター 3階 301大会議室
- ・協議事項 議案第1号 平成20年度事業報告及び決算報告について
議案第2号 評議員の選任について
- ・その他 風俗営業法の許可申請について

ii.第2回 理事会(書面決議)

- ・月 日 平成21年11月16日(月)
- ・協議事項 議案第1号 評議員の選任について
議案第2号 平成21年度資金運用計画の一部改正について

iii.第3回 理事会

- ・月 日 平成22年 3月30日(火)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室
- ・協議事項 議案第1号 平成21年度補正予算(案)について
議案第2号 平成22年度資金運用計画(案)について
議案第3号 平成22年度事業計画(案)及び予算(案)について
議案第4号 職員退職給与引当金積立てについて
議案第5号 評議員の任期満了による選任について

② 評議員会の開催

理事会を開催するにあたり、議案等について意見を求めるため、評議員会を行い、原案どおり理事会に付議することを承認された。また役員について任期満了により新たに選任した。

i.第1回 評議員会

- ・月 日 平成21年 5月26日(火)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室
- ・協議事項 議案第1号 平成20年度事業報告及び決算報告について
議案第2号 役員の選任について
- ・その他 風俗営業法の許可申請について

ii.第2回 評議員会

- ・月 日 平成21年11月 6日(金)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室
- ・協議事項 議案第1号 役員の選任について
議案第2号 平成21年度資金運用計画の一部改正について

iii.第3回 評議員会

- ・月 日 平成22年 3月29日(月)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室
- ・協議事項 議案第1号 平成21年度補正予算(案)について
議案第2号 平成22年度資金運用計画(案)について

- 議案第3号 平成22年度事業計画(案)及び予算(案)について
議案第4号 職員退職給与引当金積立てについて
議案第5号 役員の選任について

(2) その他の会議の開催

上記の会議の他、必要に応じ管理運営に関する会議・打合せ会を開催するとともに、当センターが事務局をしている「秩父観光文化施設連絡協議会」・「地場産センター物産館協力会」の会議をそれぞれ開催した。

(3) 各種会議等への出席

① 全国地場産業振興センター協議会総会

- ・月 日 平成21年7月16日(木)～17日(金)
- ・場 所 桐生地域地場産業振興センター (群馬県・桐生市)
- ・参加者 2名 (木村専務・山田事務局次長)

② 全国地場産業振興センター協議会基本問題研究会 (山田事務局次長出席)

i. 幹事会

- ・月 日 平成21年 6月 5日(金)
- ・場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

ii. 全国協議会 事前協議

- ・月 日 平成21年10月14日(水)
- ・場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

③ 関東経済産業局管内地場産業振興センター協議会

i. 協議会総会

- ・月 日 平成21年 6月11日(木)～12日(金)
- ・場 所 (財)栃木県南地域地場産業振興センター (栃木県・足利市)
- ・参加者 2名 (木村専務・山田事務局次長)

ii. 協議会(事務担当者会議)

- ・月 日 平成21年11月12日(木)～13日(金)
- ・場 所 (財)甲府国中地域地場産業振興センター
- ・参加者 3名 (山田事務局次長・福嶋係長・加藤事務員)

*人材育成研修会同時開催)

iii. その他

- ・ 中小企業庁及び関東経済産業局との懇談会(山田事務局次長)
 - 月 日 平成21年10月 6日(火)
 - 場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構
- ・ 人材育成部会(山田事務局次長)
 - 月 日 第1回 平成21年 5月 8日(金)
 - 第2回 平成20年10月 6日(火)
 - 場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

(4) 研修会への参加

① 地場産業振興センター役職員研修

- ・月 日 平成21年12月17(木)・18(金)
- ・場 所 東京都 アルカディア市ヶ谷「大雪(東)」
- ・内 容 公益法人制度改革 改革の現状と移行時まで整理しておくこと
公益法人認定基準と法人移行についての会計上のポイント
- ・参加者 2名(山田事務局次長・福嶋係長)

② 公益法人制度改革研修会

i 日興コーディアル証券㈱主催 公益法人セミナー

- ・月 日 平成21年 6月17日(水)
- ・場 所 東京都永田町 砂防会館
- ・参加者 2名(山田事務局次長・福嶋係長)

ii ペリージョンソンコンサルティング主催 公益法人移行セミナー

- ・月 日 平成21年 9月 9日(水)
- ・場 所 東京都 恵比寿プライムスクエアタワー
- ・参加者 1名(山田事務局次長)

③ 中堅社員実践研修

- ・月 日 平成21年 6月24日(水)
- ・場 所 本庄早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター
- ・参加者 2名(亀井係長・福嶋係長)

④ 営業・販売戦略等に関する勉強会

- ・講 師 専門コーディネータ (中小企業診断士) 高澤 彰氏
- ・月 日 平成21年10月20日 (火) A 14:00~15:25 B 15:40~16:30
平成21年12月15日 (火) A 15:00~16:20 B 16:30~17:30
平成22年 1月19日 (火) B 16:30~17:30
平成22年 2月16日 (火) B 15:00~17:00
- ・参加者 7名 (職員全員参加)
A 山田次長、野原補佐、斉藤係長、亀井係長、加藤事務員
B 山田次長、野原補佐、斉藤係長、高橋係長、亀井係長、福嶋係長

⑤ その他研修会

上記のほか公益法人実務、資金運用セミナー、衛生管理者研修、雇用保険事務、雇用対策政策説明会、マナー講習など、販売員も含めて積極的に職員を派遣参加させた。

⑥ 会議出席

おもてなし協議会 (ニューツーリズム)、地域ブランド、ジオパーク、商工政策委員会、定住促進委員会等、地域内各種機関団体の会議に参加した。

(5) 施設管理等

老朽化に伴う補修等を実施した。主なものは次のとおり。

- ・レストラン排煙オペレーター修理
- ・エアーハンドリングユニット・ロールフィルター交換
- ・中央玄関ドア修理
- ・シャッター緊急修理
- ・物産館オープン冷蔵ケース各所点検整備
- ・アーケードガラス修理(雪害破損→保険対応)